

国立科学博物館 産業技術史講座

技術革新が変えた、新聞用紙と製紙技術

紙は毎日眼にするためその変化に気づかないが、その生産技術は技術革新により大きく変化し続けてきた。そこで、もっとも日常的な新聞用紙を取り上げ、過去 50 年間に、品質とその生産技術がいかに変化してきたかを紹介する。さらに、製紙産業の発展を通して、素材・大型装置産業の特質を、組み立て型産業と対比して考察する。

日時：平成 20 年 9 月 13 日(土) 14 時 00 分～16 時 00 分

会場：国立科学博物館（上野） 地球館 3 階講義室

講師：飯田 清昭（前・産業技術史資料情報センター主任調査員）

募集：40 名（高校生以上一般向）

申込方法：往復はがきもしくは電子メールで受付

平成 20 年 8 月 23 日締切（消印有効）

入館にあたり、通常入館料

一般・大学生 600 円。

高校生・満 65 歳以上の方は無料（年齢が分かる証明書等を提示）

が必要です。

〒169-0073

新宿区百人町 3 - 2 3 - 1

国立科学博物館 新宿分館 研究推進課

電話：03 - 3364 - 7103（月～金）

03 - 5814 - 9875（土・日・祝日）

電子メール：sts2006@kahaku.go.jp

往復はがきまたは電子メールで(1)9月13日：産業技術史講座、(2)参加者氏名、(3)住所（返信用にも）・メールアドレス、(4)電話番号、(5)年齢、(6)職業又は学年、を記入。応募者多数の場合は抽選。グループで参加希望の場合は、参加者全員の氏名・年齢を記入。

関連ホームページ 「国立科学博物館 産業技術史資料情報センター」

<http://sts.kahaku.go.jp/>